

情報を正しく判別するための教育

厚木高校 C グループ

教育の面で、政府や学校ができること

2/22

情報の授業を
効果的で
楽しくする
べきだ！！

発表で使用した
スライド

テーマ

情報を正しく判別
するための教育

政府や学校が、
将来世代の小・
中学生たちの能
力を高められる
ように、特に小学
校・中学校での
授業内容を提案
した。

私達が受けた情報教育

5/22

一つの記事だけ読んで
自分で調べずに信じた

コロナ禍での
情報の混乱に繋がった

目的

私たちが受けた情報教育は、プログラミングの基礎や、パソコンを用いたスライド作成の方法についてが中心であった。

そして、正しい情報を判断する力が教育現場で養えず、コロナ禍での情報の混乱につながったと考えた。

そのため、子どもたちが正しく情報を判断するための能力を楽しく身に付けられるような教育を提案し、社会的混乱下でも情報に惑わさずに生活できるようにしたい。

具体的な提案内容

1. 生徒自身による探求学習

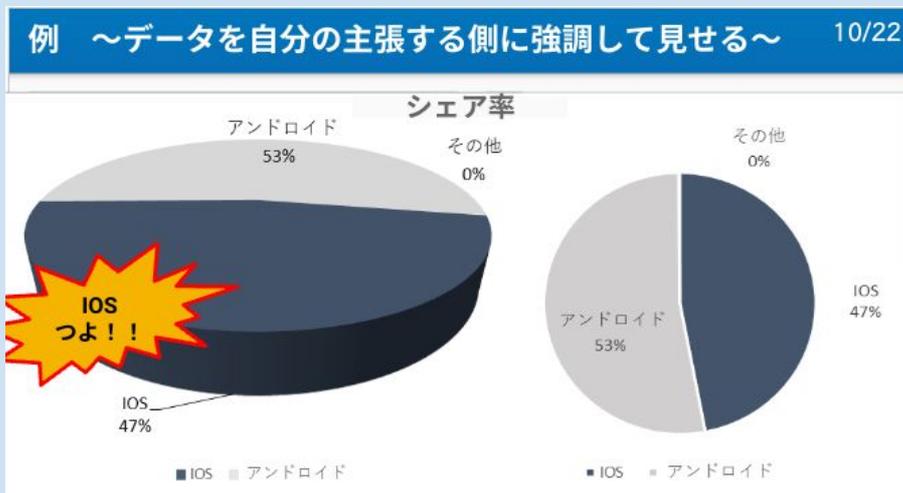
実際のデマについて調べてもらい、「どの状況下か・目的・影響の大きさ」などをまとめ、発表する。

次に対処法・デマと疑われる根拠を討論する。

2. ゲームで身につける判断力の育成

● 様々な記事を作る

誤解させるような記事をわざと作ることで、混乱させようとする人の心理を疑似体験する。受け手にまわった際に批判的な態度を育成することを目的とする。



グラフを加工して主張したいことに合わせた見方を印象づけることができる。

● テレビ番組を模したクイズ大会

騙す側と判断する側にわけ、騙す側は本当のニュースと嘘のニュースを出題し、判断する側は本当のニュースを当てるといふもの。同じく批判的に情報を判断することの習慣化と、情報の判別能力を育成することを目的とする。

ゲームの具体的な内容②

Net user 格付け チェック

13/22

| | | | | |
|-------|-------|-------|---------|--------|
| 一流先導者 | 普通先導者 | 二流先導者 | インチキ先導者 | 導く価値無し |
| 一流決断者 | 普通決断者 | 二流決断者 | インチキ決断者 | 判断力無し |

回答者は不正解するごとに格が下がっていく。また、出題者も騙せないと格が下がる。地域の小中学生で年に一回行う。

取り組んで良かったこと・学んだこと

- 今回、実現可能性は考慮していなかったため、空想の域に過ぎない提案であったが、プレゼンテーションの後にいただける講評で、どうしたら実現できるか・普及させることができるのかという意見をいただくことができ、提案の内容により深みが増したことが参加して良かったと感じた。
- このワーキングを通して、他の学校との交流や、専門家の先生方とお話することができたため、自身の将来について考えることができた。
- 約3ヶ月間グループで活動したが、意見を言い合うことと自分の立場をはっきりさせることがグループ活動をする中で円滑に議論を進めるために重要だと学んだ。
- 思わず聞き入ってしまうような良いプレゼンの仕方は、話している本人が本気でその案を提案したいと思っていることや楽しんでいる事が重要であると学んだ。

感想・振り返り

- 抽象的なテーマから始まったため、具体的な提案内容にするまで検討するのが紆余曲折あり大変だった。
- 完全にデメリットのない案など存在しないと感じた。その中で、極限にまでデメリットを少なくする方法を検討することが大事だと考えた。
- 今回意思疎通をメンバーとあまり多く取れなかったと感じたため、次グループで活動する際は積極的にメンバーと意思疎通していきたい。